

マン・オン・ワイヤー



©2008 Jean-Louis Blondeau / Polaris Images

エッジを渡らなくてナニが人生だ！ 世界一高い空で演じられた美しい犯罪の記録。

1974年、N.Y.のワールドトレーディングセンターのツインビルを綱渡りで渡った男がいた。その男・フィリップ・プティは仲間達と鉄壁の警備をくぐって屋上に潜入、夜の間に地上110階、高さ411mの高さのビルの谷間にワイヤーを張り、命綱なしで8往復、45分間もパフォーマンスを披露した。この映画は9.11で崩壊し、21世紀最悪の憎しみを生み出したビルを、史上最高に美しい犯罪で飾った男のド

キュメンタリーだ。

反骨と肉体芸に生きてきた野生児フィリップにとって、世界最高の高さのビルは建設計画段階から征服すべき夢だった。「犯罪」の動機を問われてフィリップは「エッジを渡らなくて何が人生だ」と言い放つ。彼が空に描いた白昼夢は多くの人の心に夢を植えた。街のエッジを疾走したCF!もまた、人の心に何かを残す、と思う。(沢田眉香子)

■「マン・オン・ワイヤー」 ■～8月上旬 ■監督：ジェームズ・マーシュ
■京都市みなみ会館 ■問い合わせ ☎075・661・3993

MOVIE
公開中

色即せねれいしょん



©2009色即せねれいしょんズ

青春真っ只中だからこそ、 できる無茶や抱ける夢がある。

ご存知、京都が生んだマルチアーティスト「元祖マイ・ブーマー」こと、みうらじゅん。彼の自伝的小説がオール京都ロケで映画化された。京都出身ミュージシャンの代表格「くるり」岸田繁がテキト～な家庭教師役で映画初出演しているのもうれしいところ。

「パッチギ!」「クローズZERO」のようなヤンキー系でもなく、「ウォーターボーイズ」「ルーキーズ」みたいな体育会系でもない、そ

こいらにいる文科系男子が主役の物語には、「ふつつ～でええんやで」と、平々凡々と暮らす者にとっての自己肯定ポイントが満載だ。文化祭のフォークダンスとか、放課後の抹茶ソフトとか、ブルマーから覗く下着なんかをフラッシュバックさせるおバカでしょっぱい青春映画を観れば、阪急電車の始発を何往復したって、胸張って生きていける、はず。

(山田涼子)

■「色即せねれいしょん」 ■8.8 (Sat)～ ■MOVIX京都、他
■監督/田口トモロヲ
■原作/みうらじゅん
■出演/渡辺大知(黒猫チェルシー)、峯田和伸(銀杏BOYZ)、岸田繁(くるり)、堀えみ、リリー・フランキー、白田あさ美、他
■http://shikisoku.jp

MOVIE
8.8～
(Sat)

月刊 芸妓自身!!

～京女・真摯のactive life～

MAKOTO ブログ 京女のつれづれ草
http://www.cafeblo.com/kyoto/

MAKOTO 率いる京都発信エンターテイメントチーム HP
http://www.chimralabel.com



「好きなコト」の巻



またね!

連載まる2年。編集長より「最後は好きなコト書いて良い!」っとお許しを得ました。といましても今までもかなり好き放題書かせていただいております。思うコトを文字にする「ご縁」をいただけて、とてもありがたい気持ちです。「京都CF!」さんに感謝!

さて、好きなコトはいっぱいあります。今はRADIOが楽しいですねえ。α-Stationで毎週土曜日夜9時から「Sweet'n Marble Lovers」という番組でお話しさせていただいてます(局内で編集長はんとバツリ、てなこと)。DJとしては超プロ!!とは言えず、おまけに芸妓独特の口調と世界感でちょっとしたオッチョコチョイ発言もアリで、ほんまスナンメン!! っなお喋り。もー、それがウリです(笑)。もちろんっ!一生懸命どすえ。何よりも「ご縁」を大切に生きておりますので、ゲストの皆様に出会え

る喜びもありますし、リスナーの皆さんからのメッセージやリクエストを頂戴すると「あー、自分の声が届いてるんやあ(涙)」っとジューンと来ます。メッセージが沢山あったらほんまにウキウキします♪

家にいると出会うことのない新譜や作品を知るのも嬉しい限り。もちろん、お気に入りも聴いてもらいたい!!! っと、自分の選曲もどんどんかけさせてもらっています。

出会いという歡びに満ちた毎日、「京都CF!」で出会えた皆様とは「ご縁」があったのですから、またどこかでお目にかかることと思います。これからも宜しゅうおたのもうします! 私にとって楽しく「芸妓自身」の連載でした。ほんまに「京都CF!」さん、ええご縁をおおきに♪